

「センパイ起業家×大学生」

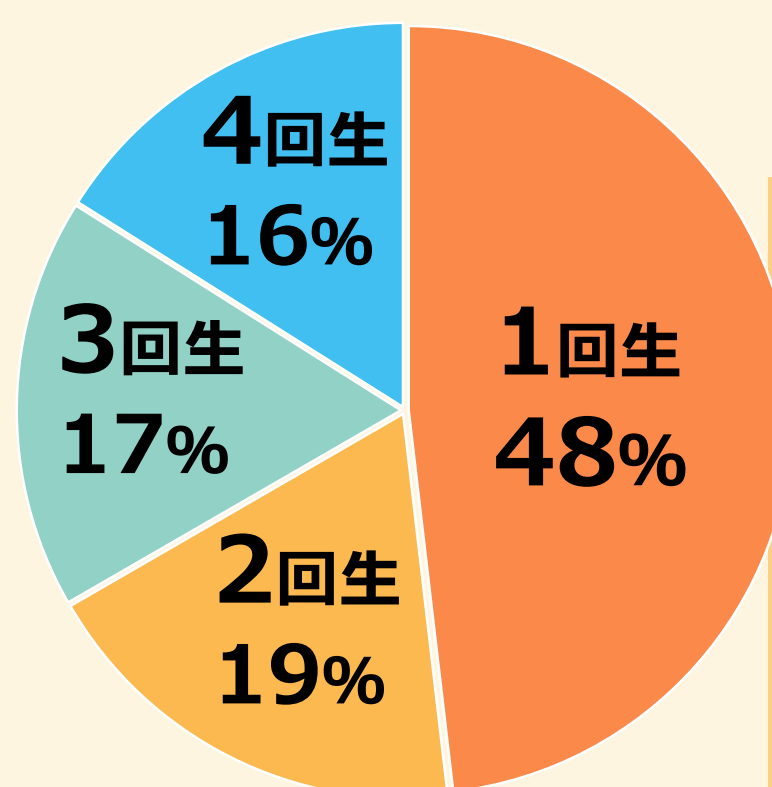
創業機運醸成イベント

－ 学生起業のリアルなハナシ－

を開催しました！



参加者の内訳（学年別）



Point！

- ・ 1年生から4年生まで万遍なくご参加いただきました！
- ・ 入学直後の1年生にも多数ご参加いただきました！！

実施内容

- センパイ起業家の座談会
- ワークショップ交流会

満足度
100%

センパイ起業家と直接話せる
貴重な機会として大好評！

開催日時

令和8年4月22日 水

開催場所

UDCみなくさ

アーバンデザインセンターみなくさ

問合せ先

草津市商工観光労政課

Tel 077-561-2351

Mail shoro@city.kusatsu.lg.jp



草津市 創業機運醸成イベント

検索

大学生創業機運醸成イベント 開催レポート

たくさんのご参加ありがとうございました！

1

各センパイの事業内容



立命館大学経済学部3年生
株式会社 irodori 代表取締役

寺田 安来センパイ

- ・学習塾からスタートし、自治体連携の公営塾やシステム開発事業の3事業を展開。
- ・大学生2名で起業し、インターン5名講師約40名の組織に成長。
- ・「人を大切にする誠実さ」を経営の軸に、事業拡大中。



立命館大学経済学部3年生
ガクリンク運営

永岡 大和 センパイ

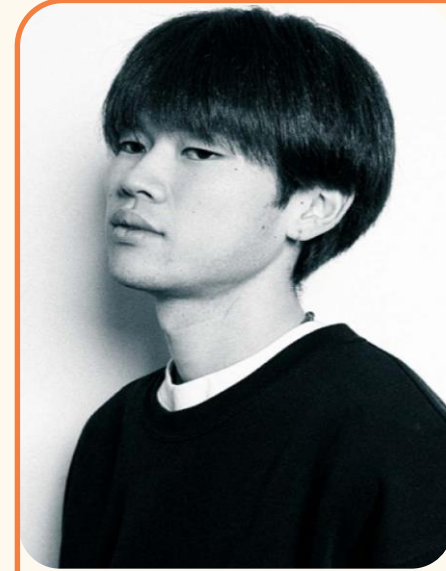
- ・学割アプリ「ガクリンク」を5名のチームで開発・運営。
- ・店舗は集客と人材確保、学生はクーポン利用や求人応募が可能。
- ・中高大の約1,000万人をターゲットに、世界展開も視野に入れる。



龍谷大学政策学部
2019年度卒業生
株式会社 RE-SOCIAL 取締役

山本 海都 センパイ

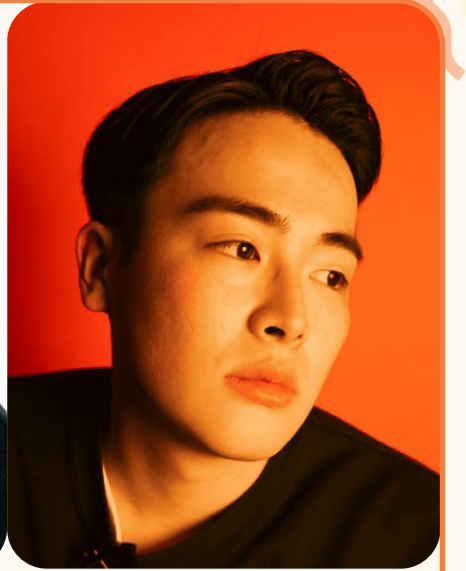
- ・野生鹿を生け捕りし、食肉として販売。
- ・獣害という社会課題の解決に挑む。
- ・年間約600頭を捕獲。一次養鹿やハラル認証取得など、独自の強みを構築。



龍谷大学国際学部
2025年度卒業生

小野 龍之介 センパイ

- ・2024年4月に映像制作会社を起業。MVやCM、SNS動画などを制作。
- ・「映像で魔法を起こす」をモットーに、クオリティに一切妥協しない。
- ・2人の強みを活かし、様々な映像制作に挑戦中。



龍谷大学文学部4年生

合同会社 Zipmotion

坂中 一平 センパイ

2

主なQ&A



参加者・センパイの声

「先輩たちの挑戦やリアルな経験談から、企業の魅力や大切な心構えを学ぶことができました。」
「一歩を踏み出す勇気が、未来を大きく変えるきっかけになります。みなさんの挑戦を応援しています！」



Q.なぜ起業しようと思ったのですか？



- ・自分のやりたいことや、叶えたい未来のために起業を決意。
- ・社会課題や身近な問題に対し、ビジネスで解決したいという思いが原動力に。
- ・学生のうちに動かないと実現できない夢や、退路を断つ必要があったため、早く踏み出した。

Q.借金（融資）を決断した理由と自信は？



- ・金融機関から借りられる＝返済の見込みがあると評価された証拠。
- ・事業計画をしっかりと作り、金融機関に相談することが大切。
- ・借金は「可能性を実現してくれる価値あるもの」。ただし、借金に不安を感じている場合は、株式による資金調達（エクイティ）も選択肢に。

Q.学生企業のメリットは？



- ・失敗の許容範囲が広く、挑戦から多くの学びを得られる。
- ・学生起業家だからこそ、支援してくれる大人や制度が多い。
- ・早く行動することで、周囲を巻き込み、チャンスを掴みやすい。

Q. 学業との両立は？



- ・優先順位をつけ、計画的に行うことが大切。
- ・大学の施設も活用して効率的に起業準備をした。

3

ワークショップ実施内容

テーマ

フードロスの課題解決アイデアを考えよう！

身近な「フードロス」をテーマに、学生ならではの視点でアイデアを出し合い、グループごとに事業アイデアをまとめました！



Aチーム



ピタツとフード（韓国語名：ピッチャク・フードウ）

- ・一般家庭のフードロスに注目。特に一人暮らしの学生をターゲットに。
- ・量り売りや食材シェアコーナー、食材管理アプリを提案。
- ・企業のイメージ向上につながる地域循環の仕組みも検討。

Bチーム



トライフード

- ・企業の試作品段階で発生するロスが課題。
- ・試作品を提供するイベントを企画・開催し、一般の人に実際に食べてもらう仕組み。
- ・企業と消費者をつなぐ新しい体験の場を提案。

Cチーム



ミート&イート（Meet&Eat）

- ・スーパーの廃棄（フードロス）を解決したい。
- ・売れ残りの総菜は学生、生鮮食品や生肉は主婦層にマッチング。
- ・出会う（Meet）・お肉（Meat）・食べる（Eat）を掛け合わせたアプリ・システムを開発。

Dチーム



リループフーズ（Re:LoopFoods）

- ・売れ残り食品を回収し、肥料や飼料として再利用する地域循環型モデル。
- ・農場で育てた食材をスーパーへ還元。
- ・まずは循環の仕組み構築とブランディングからスタート。

次回も多数のご参加をお待ちしています！

